

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.8.7(木)

事業コード	25-G-03	学校名	輪之内町立福東小学校			住 所	安八郡輪之内町南波76
実施日		6月27日(金)13:00～15:15				受講児童生徒数	48名(4～6年生)
開講職種数		4職種	指導者数	9名	参観保護者数	0名	

学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- ・職人さんのプロの技を目の前で見せていただけたというのは、とても有意義な体験である。
- ・将来への職業意識を高めたり、働くことの苦勞ややりがいに触れたりすることができてよかった。
- ・講話だけでは分からないこともあるが、実演を見てその技の素晴らしさに触れ、その後実際に自分で体験させていただけるところこそ、その難しさを実感し、職人の方への憧れや尊敬が自然と生まれるのだと思う。講話－実演－体験がセットになった学習過程だからこそ深い学びがあった。
- 3年間この授業に参加させていただくことで、体験活動だけでなく、ものづくりマイスターさんの仕事に対する熱い思いをお聞きすることができました。将来職業を選択していくときに、きっと何人かの児童がこの授業のことを思い出してくれることと思います。貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。

会場担当教員アンケートの結果（4会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

4

 ②ある程度伝わった →

--

③あまり伝わらなかった →

--

 ④全く伝わらなかった →

--

- 2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

- ・様々な職業について学ぶ良い機会であり、とても有意義な活動となっています。この日は学校運営協議会の方の参観もあり、大変貴重な活動なので継続していただけたらよいというお声もありました。ありがとうございました。(菓子製造会場)
- ・小学校ではキャリア教育に関わることを計画しにくいため、とても価値がある体験である。お世話になるのは3年間だけ(今年度で最後)と伺っているが、できれば続けて体験させてもらいたいと感じた。(建築大工会場)
- ・とても良い体験ができた。色々な職業を知ることができ、職業選択のイメージが広がったと思う。(左官会場)
- ・実際の職人さんの仕事ぶりを見ることはなかなか無いため、貴重な機会となった。クロス貼りで模様がピタッとあったときに、児童からも「おー」という声が自然と出た。生で見るというのはやはり大きいと感じた。(内装仕上げ会場)

指導者アンケートの結果（4職種の各代表）

- 1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった

③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった

④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

2
2

- 2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・偶然だと思いますが、子供たちの中で2回目という子供が2,3人いました。昨年のことをしっかり覚えていて、今回はうまくできたとのこと。またやりたいと思うことは嬉しいことで、その先に続くものだと思います。

・色々な仕事を知ることとはとても素晴らしいことで、子供が体験することでものづくりの楽しさに気付く、それが大切です。この事業を通して、一人でも多く職人を目指す子供が増えることができれば素晴らしいと思います。そのために事業の継続または拡充を期待しています。(菓子製造職種)

・生徒も先生も協力的でしたので良かったです。もっと多くの学校に体験授業を活用していただきたいと思います。(建築大工職種)

・左官は他の職種と比べて知られていない職種のように感じます。左官業も昔と比較すると、壁塗り以外に多岐に渡っています。それを学齢期から体験する機会は重要なので、今後も続けていただけたらありがたいです。(左官職種)

・色々な体験をしてもらうことは、子供の成長のために大切だと思います。今回ブックエンドに和紙を貼る作業を通して、柄が合っけきれいに貼れると嬉しい、ものづくりは楽しいと感じてもらえれば幸いです。成長して、この体験授業で経験した事が役に立つことを願っています。(内装仕上げ施工職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

		菓子製造	建築大工	左官	内装仕上げ施工	合計(左:人 右:%)	
指導者数		1	3	3	2	9	
受講児童生徒数		13	12	12	11	48	
回答	とても満足した	12	10	9	8	39	81.3
	ある程度満足した	1	2	3	3	9	18.8
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	合 計	13	12	12	11	48	100

菓子製造会場の様子



先生の感想

- ・和菓子は行事や季節に合わせて、あんことお砂糖を使って表現したものであるという和菓子の由来のお話が印象的だった。
- ・和菓子を練ったり、色を調節したりする作業は難しかったが、職人の方が丁寧に分かりやすい説明をしてくださったので、児童たちはお手本を見ながらイメージを膨らませスムーズに和菓子作りができた。また、体験してみて、一つの和菓子を1分ほどで作り上げる職人さんのすごさに圧倒された。
- ・お客様が何を求めているかを考えて、それにふさわしい(季節に合った形・色合い)お菓子を作ったり販売したりしてる。そして、何よりも、思いが大切であると教えていただいた。お客様が喜んでくれると嬉しいというやりがいも教えていただいた。
- ・職人(その道のプロ)になってからも、勉強し努力し続けることが最も大切であるとお話から感じる事ができた。
- ・子ども達にとって、その道のプロの方のお話や技術を間近で体験できるのはとても貴重な経験だと思います。ぜひ、続けていただきたいです。

児童生徒の感想

- ・菓子製造はとても難しかったけれど、優しく教えてくれて嬉しかった。
- ・職人の方がみんなにキレイな和菓子作りのお手本をしていて、さすがプロだなと思った。私ももっとキレイに和菓子を作りたい。
- ・去年と同じものを作ったので、少し違うのも作ってみたかった。でも、去年よりもキレイに作れて良かった。
- ・職人さんのように和菓子を作るにはたくさんの技術が必要だと分かった。
- ・工夫した所は、食材に色を付けたりする時に最初は少量付けて、色が薄かったら、また少量付けるようにして職人さんが作ったものと同じ色合いになるようにしたところ。
- ・河田さんが和菓子を作っているところを見て、アサガオの形にそっくりですごいと思った。
- ・あんなに早いペースでかわいい和菓子を作れるなんてすごいと思った。
- ・次はたんぽぽなど他のものも作ってみたい。

建築大工会場の様子



先生の感想

- ・作った家や、立てる前の内部の様子などを写真で用意してくださったので、仕事の具体的なイメージがもてた。
- ・丸太切りやカンナ削りなど、職人の方も実演してくださったおかげで、自分たちと比較してすごさが実感できた。
- ・様々な道具を用意してくださってあって、児童が作業しやすいように工夫してくださってあった。
- ・質疑応答では、職業に対する誇りを感じた。特に「一人前というのは何年ということではなくて、自分のやる気で早くもなれば、遅くもなる」という言葉が印象的だった。児童にもどんなことでも前向きにやることの大切さを説明してくださり、仕事に対する情熱と意気込みを感じた。
- ・質問を忘れてたりしてしまう児童がいたが、優しいまなざしで待ってくださっていた。子どもたちが安心して質問できた。
- ・身近に関係のある方がいても仕事の内容や、それらに関わることに触れる機会がなかなかないため、とても有意義であったと思う。特に小学校ではキャリアに関わる授業をなかなか計画しにくい。子どもたちにとってとてもよい経験になったと思う。

児童生徒の感想

- ・ペン立てづくりで、やすりで削るのが難しかった。
- ・なぜ大工をやろうと思ったのかなどを聞いてみたかった。
- ・もっと大きい木製の作品を作りたい。
- ・実際に建物を造っている様子などを見てみたかった。
- ・工夫したことは、ペン立ての穴の中をきれいにするために、紙やすりを小さく切って、削ったこと。
- ・私はカンナがけで力を入れて均等に削ることが難しかった。でも、名前がしっかり見えるように削るのが2回も成功できたので良かった。
- ・昔は家を建てるときに、丸太をのこぎりを使って切ったりと、機械に頼らずに建てていたことがすごいなと思った。
- ・色々なことが学べたし、体験が楽しかったので、いつかまたやってみたいと思った。

左官会場の様子



先生の感想

- ・漆喰や左官という仕事については知らない児童が多く、興味関心をもって講師の方のお話を聞くことができた。
- ・実際にコンパネにこてを使って塗る作業をしてみて、楽しい活動ではあるが、素早く美しく塗ることの難しさを実感した。
- ・講師の方のお話の中の「きれいに塗るためにはひたすら修行である」という言葉から職業に対する誇りややりがい学ぶことができた。
- ・質問で、作業の大変さや左官という仕事を選んだいきさつなど、実際に関わる職人さんから生の声を聞くことができた。
- ・昨年度(R6)に続いて同じ左官の体験を選んだ児童が数名いたが、昨年の経験も思い起こしながらの活動であったため、昨年よりも上手にできたと実感できた児童が多かった。
- ・通常ではできない大変貴重な体験活動であるため、ぜひ継続していただけると有り難いです。
- ・説明の内容も児童にわかりやすく、また、体験活動が中心であるため、最後まで集中力をきらすことなく取り組めていた。

児童生徒の感想

- ・左官は壁塗りだけかと思っていたけど、コテ絵を描いたりもしていてすごいと思った。
- ・壁塗りの時、プロの人と自分の差が違いすぎてびっくりした。力加減の仕方が上手でした。
- ・僕は初めて左官を体験したけど、とても楽しくて、もう一回やりたいなと思った。
- ・左官という仕事はあまり聞かなかったけど、今回の授業ですごい仕事だということが分かった。
- ・左官はあまり知らなかったけど、大屋さんたちの話を聞いて、左官の仕事ややり甲斐を分かりやすく話してもらってよく理解できた。
- ・最初、壁塗りをやったときにぐちゃぐちゃだったけど、プロの人にコツを聞いて上手にできるようになった。
- ・お城やかまども左官の仕事だと聞いてすごいと思った。お城の壁を塗るときは、スケールが大きいので大変だなと思った。
- ・左官で印象に残ったことは、壁塗りで苦戦していたら、すぐに助けていただいたこと。

内装仕上げ施工会場の様子



先生の感想

- ・クロス張りの実演を見たことで職人さんの技の素晴らしさを実感することができた。
- ・職人さんがやると2枚のクロスはカッターでまっすぐにスムーズにカットされたが、自分たちがやるとそんなふうにはできなかった。何気ない動作一つにもプロの技を感じた。
- ・この仕事は40年以上やっているが、定年がないため、体が動く限りは続けていきたいと語ってみえた。また、新しい素材や技術がでてくるので、日々学習していくという姿勢からもプロ意識を感じた。
- ・お客様に喜んでもらえることが一番うれしい。相手の思いを考える事は仕事においても日常生活においても大事だと学んだ。
- ・話すだけなら学校の職員でもできるかもしれないが、「技術を見せる」というのは職人さんにしかできないプロの技だと思う。まさに「百聞は一見にしかず」だと感じた。

児童生徒の感想

- ・ハケで和紙の空気を抜くということに驚いたし、のりはハケで中央からまんべんなく塗るということも学んだ。
- ・とても簡単にできて時間もかからないので、家でもやってみたいと思った。
- ・職人の皆さんが言っていたとおり、何事も楽しくやって大人まで頑張っていきたい。
- ・和紙が剥がれないように、一回めくってからまたのりを塗るところや、ずれないようにちゃんと指や定規を使って工夫して作ることができた。
- ・この職業では、たくさんの人と協力して取り組んでいるということが印象に残った。
- ・壁紙を実際に職人の人が貼って見せるところがとてもすごいと思った。そして、内装仕上げ施工はたくさんの技術がいることを知った。
- ・教え方がとても分かりやすく、分からないところも一緒にやってくれたので嬉しかった。私も少し内装の仕事に興味を持てた。
- ・ブックエンドは作るのが難しそうだったけど、説明を分かりやすくしてもらったのでキレイに上手につくることができた。
- ・壁紙貼りを体験してみたかった。
- ・壁紙を貼るときに腰に身につけている道具は重くないのかなと思った。
- ・こんな貴重な体験ができたので、とても嬉しかった。また今度は違う作品を作ってみてみたいと思った。